



下市連合組が金賞で11連覇

～八朔祭 大造り物～

9月1日、2日に浜町商店街で開催された「八朔祭」。好天に恵まれ、たくさんの観光客が訪れました。2日に行われた「大造り物の引き回し」。審査の結果、下市連合組作成の「ティラノサウルス」が金賞に輝き、前人未だの11連覇を達成しました。細部までとことんこだわって作られた大造り物はもはや「芸術品」です。

(8～9ページに関連記事)

Contents 主な内容

4P～7P …青少年健全育成推進大会

8P～9P …八朔祭

12P～13P …火伏地蔵祭・文楽の里まつり

16P～17P …まちの話題

21P ……すくすく育て

24P ……茶道教室

夏休み茶道教室



↑ ひとつひとつの動作を丁寧に



→ お点前を見守る橋本早苗さん(奥)

8月25日、千寿苑で茶道教室の発表会が行われました。この茶道教室は教育委員会が町内の小学生を対象に行ったもので、平成20年まで行われていたものが3年ぶりに復活、夏休み中の5日間、町内の小学生23人が受講しました。この日の発表会には8人が参加し、短い期間に覚えなお点前を披露、保護者などにお茶を振る舞いました。

参加した田上みさきさん(蘇陽南小5年)は「お姉ちゃん(蘇陽南小5年)は以前習っていて、やってみたいと思いましたが、正座がとてつらかったけど、とても楽しくできました。」と笑顔で感想を語ってくれました。指導した裏千家茶道社中、橋本早苗さんは「はじめはなかなか理解できませんでしたが、徐々に分かって、背筋もピンと伸びてきました。5日間という短い間でしたが、あさつで心を繋ぐことや年配者への敬意など茶道の心得である『和敬』の精神を伝えられました。」と話しました。



→ お茶を点てる松本さん

↓ みなさんでおいしくいただきました。

凛とした点前により点てられたお茶が入所者を癒しました。8月23日、矢部高校の茶道部が浜美荘を訪れ、入所者33人にお茶を振る舞いました。

ステージでお点前を披露したのは、松本萌葉さん。その美しい所作で入所者のみなさんを魅了しました。松本さんが点てたお茶は、浜美荘の藤川施設長が代表しておいしくいただきました。その後、茶道部員によって全員に菓子とお茶が配られ、その深い味わいを堪能しました。矢部高校茶道部は現在4人。すべて2年生です。浜美荘のほかライフライト矢部などの老人福祉施設への訪問も行っています。部長を務める福本真由さんは「部員が少ないので、お茶や菓子を届けるのに時間がかかって大変申し訳ない気持ちでした。でも、一生懸命に準備したものをおいしいと言ってもらえるのはとてもうれしかったです。」とお茶を配り終えてほっとした表情で話してくれました。

矢部高茶道部 浜美荘を訪問